



# 曜日はいつから？

その起源と伝来の物語

作花一志

## 曜日はいつから

日本人はいつから日月火水木金土という曜日を使っているのだろうか？

- ・明治になってから欧米にならった？
- ・鎖国中にオランダ商人がもたらした？
- ・戦国時代にやってきた宣教師が伝えた？

いやそうではなく、もっともっと古くから曜日は使われていた。七曜はヨーロッパから伝わったのではなく、天才留学僧空海（774－835）が9世紀の初めに唐から持ち帰った『宿曜経』という占星書に



書かれている。彼はわずか2年の滞在期間にサンスクリット語を習得し真言密教だけでなく健康食品から土木技術まで多数の文物を持ち帰った。曜日は藤原時代には密教行事だけでなく広く貴族間で使われていたようだ。藤原道長自筆の日記『御堂関白記』には、長保六

年二月十九日（1004年3月12日ユリウス暦：3月18日グレゴリオ暦）に藤原道長は84歳の安倍晴明を伴って、新しく作る法華三昧堂の土地探しに木幡（京都府宇治市）に行き、その日は癸酉の日曜日ということが記されている。日曜だから朝廷は休みというわけではないが、この日が日曜であることは、実際に計算して確認される。



[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Michinaga\\_diary.jpg?](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Michinaga_diary.jpg?uselang=jauselang=ja)

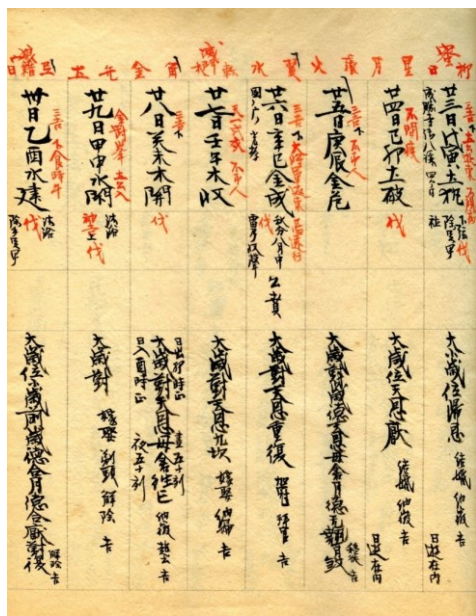
[uselang=jauselang=ja](#)

御堂関白記 上段に赤字で曜日が記してある



<http://web1.kcg.edu/~sakka/koyomi/eto.htm>

『御堂関白記』は陰陽師の作った「具注暦」という暦に道長自身が書き込んだもので、そこには干支・二十四節気・吉凶の占いはもちろん、日・月・火・水・木・金・土までが書いてある。『宿曜経』にはまた白羊（おひつじ）、青牛（おうし）、陰陽（ふたご）、巨蟹（かに）、獅子（しし）、小女（おとめ）、秤量（てんびん）、蝸虫（さそり）、人馬（いて）、磨羯（やぎ）、宝瓶（みずがめ）、雙魚（うお）という十二宮も載っていて、これらを使って宿曜師は星占いをしていたようだ。



承元四年八月（1210年9月）の具注暦の一部。上段に曜日が朱書されている。（京都大学宇宙物理学教室）

鎌倉時代の史料として、承元四年＝1210年および正和四年＝1315年の「具注暦」が京都大学宇宙物理学教室図書室で見ることが出来る。日曜日に「密」という字が書かれているのはソグド語のミールに由来するものといわれている。また南北朝時代の康永4年＝1345年の「仮名暦」は栃木県荘厳寺に保存されている。江戸時代にはわが国初の暦を作った渋川春海(1639－1715)の署名のある貞享五年＝1688年の具注暦、また大和国だけで使われていた文化十年＝1813年の「南都暦」などがあり、こ

れらに記載されている曜日はすべて現在の曜日に連続している。

## 世界各国の曜日名

英語では日曜・月曜・土曜は天体名，火曜から金曜までは北欧神話の神々の名がつけられている。

Tuesday は軍神テュールの日，Wednesday は最高神オーディンの日，Thursday は雷農耕の神トールの日，Friday は美と愛の女神フレイアの日であり，ドイツ・オランダ・ノルウェー・スウェーデン語など北欧では一般にそうだ。一方，フランス・スペイン・イタリア語などラテン系では日曜(主の日)と土曜(安息日)はキリスト教にちなむ名前で，他は天体名である。フランス語の lundi, mardi, mercredi, jeudi, vendredi はそれぞれ月ルナ (ダイアナ)，火星マルス，水星メルクリウス (マーキュリ)，木星ジュピター (ゼウス)，金星ビーナスに由来している。

中国やイスラム系諸国 (インドネシアからアフリカまで) では一般に 1, 2, 3・・・と番号が付けられているし，またスラブ系ではいろいろな要素が混入されている。

すべてに天体名を使っているのはインド・タイ・日本・韓国など東アジア諸国で，古代ギリシアがそうであることは興味深い。**Helios, Selenes, Areos, Hermeos, Dios, Aphrodites, Kronos** は太陽，月，火星，水星，木星，金星，土星の神でありまた天体を表している。



曜日がどこで初めて使われたか定説はないようだが、2，3世紀に世界最大の都市アレキサンドリアにて天体名で使われ始め，そこから各地に広まったと言われている。ヨーロッパではキリスト教その他さまざまな宗教に影響され，何回か名前が変わったが，東方には原型のまま伝わり，東アジアでは今も日・月・惑星の名前がそのまま残っている。中国はかつて日本や朝鮮と同じ天体名を使っていたが（ただしあまり普及しなかった）20世紀になってから番号に変えたそうだ。曜日の起こりは聖書の創世記の記述「神は6日でこの世を創造し7日目は休んだ。」ことによると言われるのは後世の挿話のようである。

世界の曜日名      天体      キリスト教      北欧神話

| 日本語 | フランス語           | 英語             | 中国語 | 韓国語   | ヒンディ語      | 古ギリシア語  | 古ラテン語      |
|-----|-----------------|----------------|-----|-------|------------|---------|------------|
| 日   | Dimanche<br>主の日 | Sunday<br>太陽   | 星期日 | 일 일   | Ravivar    | Helios  | Solis dies |
| 月   | lundi 月         | Monday 月       | 星期一 | 월 ウォル | Somavar    | Selenes | Lunae      |
| 火   | Mardi 火星        | Tuesday<br>ティル | 星期二 | 화 ファ  | Mangalavar | Areos   | Martis     |

|   |             |                    |     |      |           |            |          |
|---|-------------|--------------------|-----|------|-----------|------------|----------|
| 水 | Mercredi 水星 | Wednesday<br>オーディン | 星期三 | 수 스  | Budhavar  | Hermeos    | Mercoris |
| 木 | jeudi 木星    | Thursday<br>トール    | 星期四 | 목 모크 | Guruvar   | Dios       | Jovis    |
| 金 | Vendredi 金星 | Friday<br>フレイア     | 星期五 | 금 쿤  | Shukravar | Aphrodites | Veneris  |
| 土 | Samedi 安息日  | Saturday<br>土星     | 星期六 | 토 툴  | Shanivar  | Kronos     | Saturni  |

さて曜日の順序はどのように決められたのか？7天体の明るい順で

- 土木火日金水月土木火
  - 日金水月土木火日金水
  - 月土木火日金水月土木
  - 火日金水月土木火日金
  - 水月土木火日金水月土
  - 木火日金水月土木火日
  - 金水月土木火日金水月
  - 土木火日金水月土木火

も近い順でもなさそうだ。これについては 200 年頃，ローマの元老院議員・執政官を勤めたカシウスが著わした『ローマ史』に次のような興味ある記述がある[8]。当時すでに太陽・月・五惑星の遠近の順序は回帰周期から知られていた。その周期は月では約 27 日，土星では約 30 年，遠い天

体ほどゆっくり運動するので周期は長いというわけだ。そこで遠い順に「土木火日金水月」と左から書き並べて，24 で改行するというのを何回か繰り返して，上から読んでみると，「日月火水木金土」の順になるではないか！実は 24 でなくても 7 で割って 3 余る数なら何でもよく，最も簡単な数は 10 だから実際に試してみてください。

かつてフランス革命政府は，カトリック色の強いグレゴリオ暦を廃止して新たに革命暦を制定した（1793 年）。この暦法では，1 年は 365 日で，1 年は 12 か月，すべての月は 30 日で，余まった 5

日（閏年は6日）は年の終わりに置いて休日としていた。さらに従来の週（semaine）と七曜を廃止して1か月を10日ずつ3つのデカード（décade。週・旬とも訳す）に分け、暦だけでなく時間の単位も変更した。フランス革命暦では、1週は10日、1日は10時間、1時間は100分、1分は100秒とすべて十進法が使われた（十進化時間）。曜日の名前はカトリックとは無関係に番号となり月の名前は文学的な名がつけられた。さらに年初は共和制宣言の行われた1792年9月22日と定められた。過大に合理性を追求しこれまでの生活習慣と大きく異なるものであった。同時期に考案されたメートル法は十進法を採用して、正式な単位として普及したが、この暦は七曜に慣れた国民の間では不評だった。1802年3月31日より七曜が復活し、さらにナポレオンが皇帝となった2年後、共和暦14年雪月10日の翌日を1806年1月1日として革命暦は廃止され、元のグレゴリオ暦に戻ったという。ロシア革命の後も1929年から1940年まで「ソビエト連邦暦」が施行された。フランス革命暦にならって1月から12月までのすべての日数を30日とし、残りの5日（閏年は6日）は月と月の間にどの月にも属さない休日とする。7曜制は廃止され、5日（後に6日）周期の週が採用された。しかしやはり徹底せず国民には不評で、スターリンもやむなくグレゴリオ暦＋七曜を復活させた。やはり私たちの生活には7日周期が合っているようだ。

[付記]

後から気が付いたことだが、江戸時代に改定された暦である貞享暦、寛政暦、天保暦にも曜日は書いてある。国立天文台暦計算室貴重資料展示室のページを参照されたい。[貴重資料展示室 030 改暦の年の頒暦 - 国立天文台暦計算室 \(nao.ac.jp\)](#)